

(様式1)

平成11年度  
研究助成報告書

提出日 平成12年3月31日

研究の種類

共同研究(含む海外) ・ 個人研究 ・ 出版助成

研究課題名

浮世絵画素研究

研究代表者及び研究分担者(所属・職名・氏名)

文芸学部	教授	内田保廣
文芸学部	准教授	山本聡美
生活科学科	准教授	渡辺明日香

研究期間(当該年度期間に何時何処でどんな事をしたか、年間スケジュールを記入) 16時30分

〈例: 7月25日 共立博物館において〇〇の資料収集〉

5月7日 共立女子大学 本館 1419室 研究会

参加者

千葉大学(本学非常勤) 高木元

本学非常勤 本多亜紀

本学 渡辺明日香

本学 山本聡美

本学 島 洋子

本学 咲本英恵

本学 内田保廣

6月4日 共立女子大学 本館 1419室 日比谷孟俊氏(元慶應義塾大学教授)による講演。16時45分

参加者

本学非常勤 本多亜紀

本学 渡辺明日香

本学 山本聡美

本学 島 洋子

本学 咲本英恵

本学 内田保廣

11月4日~11月8日 山本聡美 准教授 海外出張

11月4日(金) JAL041便、13:30羽田発 - 6:20パリ・シャルルドゴール着

午後「酒飯論絵巻」に関するワークショップに参加、於：パリ人間科学会館

11月5日(金)

終日「酒飯論絵巻」に関するシンポジウムに参加、於：パリ市セルヌスキー美術館

11月6日(土)

午後「酒飯論絵巻」の作品調査、於：パリ国立図書館

11月7日(日)

終日「絵巻物—バイユーのタペストリーと伴大納言絵巻」展見学、於：バイユータペストリー美術館

11月8日(月) JAL406便、18:05パリ・シャルルドゴール発 - 翌9日14:05成田着

12月3日～5日 吉原と浮世絵に関する国際シンポジウム 共催 松本市国際浮世絵博物館

参考 <http://lab.sdm.keio.ac.jp/isyu/>

12月3日(土) 参加者

本学 内田保廣・山本聡美

研究会メンバー 本多亜紀

12月4日(日) 参加者

本学 渡辺明日香

12月5日(月) 参加者

本学 内田保廣 最終コメンテーター

研究会メンバー 咲本英恵

2012年3月2日(予定) 国際シンポジウム 鋏形蕙斎の画本芸術～江戸からパリへ～ 共催 日仏会館

参考 [http://www.mfj.gr.jp/agenda/2012/03/02/index\\_ja.php](http://www.mfj.gr.jp/agenda/2012/03/02/index_ja.php)

本学 内田保廣(司会)、参加 渡辺明日香 研究会メンバー 高木元、咲本英恵、島洋子、本多亜紀

3月3日 共立女子大学 本館 マッティ・フォラー氏による講演(予定)

3月15日～19日 渡辺明日香 准教授 海外出張(予定)

(様式2)

研究組織 [ 氏名, 所属, 役割分担 ]		
(共同研究のみ記入)		
内田保廣	文芸学部 教授	統括・画素データ・ベース作成。
山本聡美	文芸学部 准教授	海外情報収集。中世絵画との接点。
渡辺明日香	生活科学科	画像データ収集方法。浮世絵におけるファッション要素。
高木元	千葉大学	トータル・アドバイザー
本多亜紀	本学非常勤	データ・ベース作成。画素認定。
咲本英恵	本学助手	会計事務。浮世絵における源氏物語の要素研究。
島洋子	本学助手	役者絵と公演年代の特定。
研究発表 (印刷中も含む) 雑誌及び図書 共立女子大学文芸学部紀要 不埒物語翻刻 (初校)		

総合文化研究所

(様式3)

研究実績の概要

本学における研究会・講演会を三回（内一回は現在予定中）開催し、共催による国際会議を二回（内一回は予定中）行う。当初予定であったオランダ・ライデンでの国際シンポジウムへの参加は会場の急な不都合によって中止となり、松本国際浮世絵博物館、日仏会館での国際会議に参加することとなった。

データ・ベースの作成とその基礎となる画素の認定は現在進行中で、その結果は次年度以降に逐次発表する予定である。また、研究発表として記載した『不埒物語』はパロディ作品であり、その挿絵には、浮世絵、特に廓を主題としたものと共通する画素を持っている。今回その文字の部分を翻刻発表し、来年度挿絵と書誌的な考察を行う。

以上